

平成23年2月期 第1四半期決算短信

平成22年7月9日

上場取引所 JQ

上場会社名 ローツェ株式会社
 コード番号 6323 URL <http://www.rorze.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年7月15日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 崎谷 文雄
 (氏名) 橋本 勲

TEL 084-960-0001

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第1四半期の連結業績(平成22年3月1日～平成22年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第1四半期	2,179	422.3	268	—	292	—	182	—
22年2月期第1四半期	417	—	△379	—	△347	—	△116	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第1四半期	10.88	10.64
22年2月期第1四半期	△6.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第1四半期	15,105	7,562	42.9	385.68
22年2月期	14,472	7,202	42.9	369.95

(参考) 自己資本 23年2月期第1四半期 6,475百万円 22年2月期 6,211百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年2月期	—	—	—	—	—
23年2月期(予想)	—	0.00	—	2.00	2.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	4,438	392.0	382	—	408	—	294	—	17.56
連結累計期間	10,207	182.7	920	—	895	—	584	—	34.79

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

平成22年4月12日に公表いたしました連結業績予想につきましては修正しております。詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報、及び本日公表しております「2011年2月期第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年2月期第1四半期 17,640,000株 22年2月期 17,640,000株

② 期末自己株式数 23年2月期第1四半期 850,195株 22年2月期 850,195株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 23年2月期第1四半期 16,789,805株 22年2月期第1四半期 17,291,978株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成22年4月12日に公表いたしました連結業績予想につきましては修正しております。詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報、及び本日公表しております「2011年2月期第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内外の経済対策や新興国需要の拡大等を背景に企業収益の改善や設備投資の下げ止まりが見られるなど、緩やかな回復基調となりました。しかし、雇用環境や個人消費は依然として厳しく、新たに欧州の財政悪化に伴う下振れ懸念材料も顕在化するなど、先行き不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、パソコン、液晶テレビ、スマートフォンなどの需要拡大に伴い、DRAMやフラッシュメモリなどの半導体や液晶パネルの生産が活発になっており、台湾、韓国、中国等を中心に積極的な設備投資が行われるようになりました。

このような状況の中で当社グループは、台湾におけるウエハソータやEFEMの受注増加に加え、韓国における液晶ガラス基板搬送装置の受注も大幅に増加したため、連結売上高は大きく回復いたしました。

損益面につきましては、台湾や韓国における受注増加に伴い、ベトナム子会社での生産も好調に推移した結果、利益確保をはかることができました。一方、日本や米国では依然厳しい状況が続いており、労務費や経費削減、コストダウンへの取組み等を継続して実施しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の連結業績は、売上高2,179百万円(前年同期比422.3%増)、営業利益268百万円(前年同期は営業損失379百万円)、経常利益292百万円(前年同期は経常損失347百万円)、四半期純利益182百万円(前年同期は四半期純損失116百万円)となりました。

なお、所在地別セグメントの状況につきましては、以下のとおりであります。

(日本)

国内の半導体設備投資は緩やかな回復傾向が見られるようになり、主力製品のウエハ搬送装置の受注及び販売は増加してきておりますが、損益面では依然として厳しい状況が続きました。その結果、売上高1,143百万円(前年同期比458.3%増)、営業損失28百万円(前年同期は営業損失192百万円)となりました。

(米国)

売上高の回復傾向は見られるものの、厳しい設備投資環境が続きました。その結果、売上高100百万円(前年同期比477.7%増)、営業損失11百万円(前年同期は営業損失30百万円)となりました。

(ベトナム)

台湾、韓国などの受注増加に対応し、量産品の生産が大幅に回復いたしました。その結果、売上高404百万円(前年同期比1,559.5%増)、営業利益26百万円(前年同期は営業損失67百万円)となりました。

(台湾)

主要取引先からのウエハ搬送装置の受注が依然として好調でありました。その結果、売上高732百万円(前年同期比1,148.3%増)、営業利益153百万円(前年同期は営業損失18百万円)となりました。

(韓国)

韓国における液晶ガラス基板搬送装置の受注が回復し、増加いたしました。その結果、売上高864百万円(前年同期比428.4%増)、営業利益105百万円(前年同期は営業損失61百万円)となりました。

(シンガポール)

シンガポール及びその周辺地域で稼働している当社製品のメンテナンスを主体に事業展開をはかりました。その結果、売上高55百万円(前年同期比499.6%増)、営業利益15百万円(前年同期比1,322.5%増)となりました。

(中国)

中国で稼働している当社製品のメンテナンスを中心とした事業展開をはかりました。その結果、売上高7百万円(前年同期比370.3%増)、営業利益1百万円(前年同期は営業損失4百万円)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ633百万円増加し、15,105百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金の増加565百万円及びたな卸資産の増加745百万円の一方、現金及び預金の減少802百万円によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ272百万円増加し、7,543百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の増加600百万円の一方、借入金の減少221百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ360百万円増加し、7,562百万円となりました。これは主に利益剰余金の増加182百万円によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は、前連結会計年度末と比べて804百万円減少し、1,458百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は、591百万円(前年同期は52百万円の収入)となりました。これは主に、売上債権の増加532百万円及びたな卸資産の増加714百万円的一方、仕入債務の増加595百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は、17百万円(前年同期は165百万円の使用)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は、226百万円(前年同期は695百万円の使用)となりました。これは主に、短期借入金の純増額181百万円及び長期借入れによる収入200百万円的一方、長期借入金の返済による支出607百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

2010年4月12日付の「2010年2月期決算短信」において公表いたしました2011年2月期の第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表しております「2011年2月期第2四半期累計期間及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

② 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等の著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (2010年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (2010年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,499,629	2,302,104
受取手形及び売掛金	2,490,095	1,924,891
商品及び製品	310,647	284,216
仕掛品	2,297,545	1,859,090
原材料及び貯蔵品	1,400,904	1,120,607
繰延税金資産	149,616	150,754
その他	253,094	91,854
貸倒引当金	△73,366	△67,491
流動資産合計	8,328,167	7,666,027
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,651,891	2,643,570
土地	2,383,389	2,366,451
その他（純額）	561,607	595,779
有形固定資産合計	5,596,888	5,605,802
無形固定資産		
投資その他の資産	188,030	190,326
投資有価証券	347,407	365,967
繰延税金資産	375,778	374,055
その他	271,563	272,513
貸倒引当金	△2,006	△1,994
投資その他の資産合計	992,742	1,010,541
固定資産合計	6,777,662	6,806,670
資産合計	15,105,829	14,472,698

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (2010年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (2010年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,160,037	559,245
短期借入金	3,649,492	3,745,215
未払法人税等	112,204	67,946
賞与引当金	18,160	—
製品保証引当金	131,431	97,435
その他	466,725	688,746
流動負債合計	5,538,052	5,158,589
固定負債		
長期借入金	1,566,893	1,692,993
繰延税金負債	57,550	56,127
退職給付引当金	75,284	63,787
役員退職慰労引当金	300,272	293,590
その他	5,368	5,599
固定負債合計	2,005,368	2,112,098
負債合計	7,543,420	7,270,687
純資産の部		
株主資本		
資本金	982,775	982,775
資本剰余金	1,127,755	1,127,755
利益剰余金	5,535,751	5,353,019
自己株式	△126,576	△126,576
株主資本合計	7,519,705	7,336,973
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	32,936	44,954
為替換算調整勘定	△1,077,160	△1,170,575
評価・換算差額等合計	△1,044,224	△1,125,621
新株予約権	15,488	11,264
少数株主持分	1,071,439	979,393
純資産合計	7,562,409	7,202,010
負債純資産合計	15,105,829	14,472,698

(2) 【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2009年3月1日 至2009年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2010年3月1日 至2010年5月31日)
売上高	417,331	2,179,774
売上原価	434,957	1,470,251
売上総利益又は売上総損失(△)	△17,625	709,523
販売費及び一般管理費	362,292	440,754
営業利益又は営業損失(△)	△379,917	268,768
営業外収益		
受取利息	8,839	2,169
有価証券売却益	1,717	—
為替差益	315	537
補助金収入	37,979	25,702
その他	2,423	10,972
営業外収益合計	51,275	39,383
営業外費用		
支払利息	17,061	14,519
その他	1,436	1,394
営業外費用合計	18,497	15,914
経常利益又は経常損失(△)	△347,139	292,237
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1,437
特別利益合計	—	1,437
特別損失		
有形固定資産除却損	214	—
関係会社株式評価損	14,999	—
投資有価証券売却損	—	5,157
特別損失合計	15,214	5,157
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△362,353	288,517
法人税、住民税及び事業税	3,195	50,121
法人税等調整額	△218,936	8,383
法人税等合計	△215,740	58,504
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△30,377	47,280
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△116,235	182,732

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2009年3月1日 至2009年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2010年3月1日 至2010年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△362,353	288,517
減価償却費	79,344	86,574
無形固定資産償却費	6,303	7,569
のれん償却額	122	122
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,895	3,890
受取利息及び受取配当金	△8,839	△2,169
支払利息	17,061	14,519
為替差損益(△は益)	18,717	△12,445
有形固定資産除却損	214	—
関係会社株式評価損	14,999	—
売上債権の増減額(△は増加)	1,015,546	△532,652
たな卸資産の増減額(△は増加)	2,165	△714,848
仕入債務の増減額(△は減少)	△491,916	595,704
その他	△213,388	△304,570
小計	83,873	△569,787
利息及び配当金の受取額	8,547	1,460
利息の支払額	△14,325	△15,261
法人税等の支払額	△25,433	△7,571
営業活動によるキャッシュ・フロー	52,661	△591,161
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△140,800	—
有価証券の売却による収入	21,953	—
投資有価証券の取得による支出	—	△107,042
投資有価証券の売却による収入	—	106,836
有形固定資産の取得による支出	△34,857	△13,088
貸付けによる支出	△10,000	△9,240
貸付金の回収による収入	—	8,535
その他	△1,894	△3,245
投資活動によるキャッシュ・フロー	△165,597	△17,244

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2009年3月1日 至 2009年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2010年3月1日 至 2010年5月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	181,753
長期借入れによる収入	—	200,000
長期借入金の返済による支出	△620,977	△607,429
配当金の支払額	△34,791	—
少数株主への配当金の支払額	△5,648	—
自己株式の取得による支出	△34,011	—
リース債務の返済による支出	—	△353
財務活動によるキャッシュ・フロー	△695,429	△226,028
現金及び現金同等物に係る換算差額	17,094	30,210
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△791,271	△804,224
現金及び現金同等物の期首残高	2,359,509	2,262,754
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,568,238	1,458,529

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間において、当社グループは、半導体業界のIC製造工場及び液晶業界の液晶ディスプレイ製造工場の製造工程で使用される無塵化対応搬送用ロボットやその応用装置の開発・製造・販売を主業務としており、その製品の種類、性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種、同系列の搬送装置を専ら製造販売している単一セグメントでありますので、記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2009年3月1日 至 2009年5月31日)

	日本 (千円)	米国 (千円)	ベトナム (千円)	台湾 (千円)	韓国 (千円)	シンガ ポール (千円)	中国 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高										
(1) 外部顧客に 対する売上高	170,136	17,402	8,358	54,803	163,233	3,235	161	417,331	—	417,331
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	34,618	—	15,986	3,841	431	6,020	1,453	62,351	(62,351)	—
計	204,755	17,402	24,345	58,644	163,665	9,256	1,614	479,683	(62,351)	417,331
営業利益又は 営業損失(△)	△192,028	△30,947	△67,322	△18,403	△61,772	1,086	△4,193	△373,582	(6,335)	△379,917

(注) 1 地域は、国別により区分しております。

2 会計処理基準に関する事項の変更

(1) 棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間から「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)を適用し、評価基準については、主として原価法から主として原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)に変更しております。

これにより、当第1四半期連結累計期間の営業損失が日本で7,324千円増加しております。

(2) 「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

当第1四半期連結会計期間から「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(企業会計基準委員会 平成18年5月17日 実務対応報告第18号)を適用しております。

これにより、当第1四半期連結累計期間の営業損失が韓国で5,606千円減少しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2010年3月1日 至 2010年5月31日)

	日本 (千円)	米国 (千円)	ベトナム (千円)	台湾 (千円)	韓国 (千円)	シンガ ポール (千円)	中国 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高										
(1) 外部顧客に 対する売上高	475,086	99,474	66,920	651,697	828,566	55,070	2,958	2,179,774	—	2,179,774
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	668,147	1,061	337,093	80,351	36,295	430	4,634	1,128,013	(1,128,013)	—
計	1,143,234	100,535	404,014	732,048	864,861	55,501	7,592	3,307,788	(1,128,013)	2,179,774
営業利益又は 営業損失(△)	△28,309	△11,220	26,354	153,528	105,550	15,449	1,331	262,685	6,083	268,768

(注) 地域は、国別により区分しております。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 2009年3月1日 至 2009年5月31日)

	台湾	韓国	米国	ドイツ	その他の国	計
I 海外売上高(千円)	32,348	163,233	15,144	4,380	50,074	265,182
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	—	417,331
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	7.8	39.1	3.6	1.0	12.0	63.5

(注) 1 地域は、国別により区分しております。

また、その他の国の内訳はフランス、中国、シンガポール等であります。

2 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第1四半期連結累計期間(自 2010年3月1日 至 2010年5月31日)

	台湾	韓国	米国	ドイツ	その他の国	計
I 海外売上高(千円)	698,172	816,399	35,529	89,138	233,238	1,872,478
II 連結売上高(千円)	—	—	—	—	—	2,179,774
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	32.0	37.5	1.6	4.1	10.7	85.9

(注) 1 地域は、国別により区分しております。

また、その他の国の内訳は中国、フランス、シンガポール等であります。

2 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

生産、受注及び販売の状況

(1) 生産実績

品目別	生産高(千円)	前年同四半期比(%)
ウエハ搬送機	1,142,801	231.4
ガラス基板搬送機	246,884	400.2
バイオ・ゲノム関連装置	1,726	—
モータ制御機器	11,653	276.9
合計	1,403,066	250.6

- (注) 1 当社グループは、同種、同系列の搬送装置を専ら製造販売しており、事業部門別での生産実績の把握が困難なため、品目別に記載しております。
 2 金額は、製造原価によっております。
 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注状況

モータ制御機器については見込生産によっておりますが、ウエハ搬送機、ガラス基板搬送機、及びバイオ・ゲノム関連装置につきましては、受注生産を行っております。

ウエハ搬送機、ガラス基板搬送機、及びバイオ・ゲノム関連装置の受注状況は次のとおりであります。

品目別	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
ウエハ搬送機	2,074,135	12,225.8	2,101,117	576.8
ガラス基板搬送機	1,171,071	1,346.2	791,701	1,219.4
バイオ・ゲノム関連装置	1,173	—	1,233	—
合計	3,246,380	3,122.9	2,894,051	674.3

- (注) 1 当社グループは、同種、同系列の搬送装置を専ら製造販売しており、事業部門別での受注実績の把握が困難なため、品目別に記載しております。
 2 金額は、販売価格によっております。
 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

品目別	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
ウエハ搬送機	1,332,297	804.2
ガラス基板搬送機	542,504	513.1
バイオ・ゲノム関連装置	2,301	—
モータ制御機器	31,849	455.3
部品・修理 他	264,207	191.3
商品	6,613	844.6
合計	2,179,774	522.3

- (注) 1 当社グループは、同種、同系列の搬送装置を専ら製造販売しており、事業部門別での販売実績の把握が困難なため、品目別に記載しております。
 2 主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合

相手先	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間	
	販売高(千円)	割合(%)	販売高(千円)	割合(%)
三星電子㈱	37,290	8.9	514,200	23.6
台湾セミコンダクター・マニユファクチャリング・カンパニー・リミテッド	1,936	0.5	369,023	16.9
S-LCD㈱	54,724	13.1	—	—
日本エレクトロセンサリデバイス㈱	43,141	10.3	—	—

- (注) 1 S-LCD㈱に対する当四半期連結累計期間の売上高は、184千円(総販売実績に対する割合0.0%)であります。
 2 日本エレクトロセンサリデバイス㈱に対する当四半期連結累計期間の売上高は、2,668千円(総販売実績に対する割合0.1%)であります。
- 3 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。